



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

野党連合政権の実現へ、飛躍の年に

この一年間で野党共闘は、質的に大きく変化し、「野党連合政権」は、夢物語ではなく、現実的な問題になりました。

昨年参議院選挙では、全一人区で統一候補が擁立され、13項目にわたる共通政策が打ち出されました。その後の国会では、「桜を見る会」野党対策本部が設置され、野党が一丸となって追及しました。

そして、岩手県知事選挙、埼玉県知事選挙では野党統一候補が勝利し、立川市長選挙、青梅市長選挙では健闘、あきるの市長

選挙では勝利しました。

日本共産党は、参議院選挙後、野党各党に連合政権についての協議を申し入れ、立憲民主、国民民主、社民、れいわ新選組と、安倍政権を倒し、政権交代を実現するために力を合わせることで合意しました。

さらに、今年行われる東京都知事選挙についても、立憲民主、国民民主、日本共産党、社民党、生活者ネット、みどりの党、新社会党の7党が共闘することで一致しました。

衆議院東京21区でも市民と野党共闘

日野、立川、国立などが入る衆議院東京21区でも、市民と野党の共闘が進められています。

1月20日には、立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組の野党各党と市民が政策を話し合い、野党の共通政策をいっそう豊かにするための政策フォーラムが開催されます。

こうした動きを加速させ、憲法を生かし、暮らしを応援し、多様な個性が尊重される、希望ある政権を今年こそ実現しましょう。

第2回市民と野党の政策フォーラム

野党連合政権でどうなる

最賃・学費・国保・年金・医療

1月20日（月）18時半～20時半

立川市女性総合センターアイム

主催：東京21区市民連合連絡会

12月市議会 補聴器への助成について質問

昨年12月市議会で、日本共産党大高哲史議員は、一般質問で補聴器購入費と、購入後の調整やトレーニングに対する支援を市に求めました。

耳の聞こえが悪くなると、会話がしづらくなります。厚生労働省も難聴は認知症の

危険因子の一つとして挙げています。できるだけ早い段階から、耳鼻科で診断を受け、補聴器を使うことが大切です。

しかし、補聴器は購入費が高く、せっかく購入しても「合わない」とあまり使用していない方もいます。

市立病院で難聴耳鳴外来、補聴器に関する外来

昨年12月現在、市立病院では耳鼻咽喉科で、難聴に関する診療を行っており、専門外来としては難聴耳鳴外来を週1回、補聴器に関する外来を週4回も設けています。

ここでは、難聴によって低下した聴覚機能を補聴器で補うことについて、医師が診察や検査等により診断を行っています。また、言語聴覚士が補聴器の調整などを行う体制を整えています。

平成30年度には約540人が補聴器外来を受診しています。

補聴器は、購入後も調整をくり返し行う必要があります。これは、音が聞こえない状態が続いている間に衰えてしまった脳の機能を、トレーニングするためです。このトレーニングがなければ、補聴器は有効に機能しないのです。

購入費補助・調整などへの支援を求める

大高議員は、①障害者の対象とならない「中程度の難聴者」に対して購入費補助を行う制度をつくるよう国や東京都に要請するとともに、制度ができるまでの間は市独自に補助を行うこと、②聞こえのトレーニング中の支援についても、国や東京都に支援制度の創設を求めるとともに、当面市独

自支援をおこなうこと、以上を求めました。

大坪市長は、補聴器購入費補助や聞こえのトレーニングに対する支援が必要であるとの認識を示したうえで、市長会などを通じて国や東京都に要望していく意向を表明しました。

畑だより・・・

カリフラワーとブロッコリーを収穫しました

ろくに面倒もみられなかったのになんと立派に育ったこと!!!

